

発行日 昭和46年4月15日
 発行 三重県度会町
 編集 総務課

4月のこよみ

- 16日(金) 乳幼児検診
(一之瀬中学校)
- 18日(日) 町長選挙告示
不在者投票開始
- 19日(月) 畜犬登録と狂犬病予防注射
(午前10時・一之瀬農協
午後1時・小川郷農協)
- 20日(火) 同(午前10時・中川診療所
午後1時・役場)
中学校修学旅行
(2泊3日・東京方面)
- 21日(水) 妊産婦検診
(母子健康センター)
- 22日(木) 清掃の日
- 24日(土) 町長選挙不在者投票締切り
- 25日(日) 町長選挙投票日
- 26日(月) 春の全国交通安全運動一
後期運動開始～5月5日
小学校修学旅行
(2泊3日・京阪方面)
- 28日(水) 県道度会玉城線道路改良
工事起工式(岩坂町境で)
妊産婦検診
(母子健康センター)
- 29日(木) 天皇誕生日

5月のこよみ

- 1日(土) メーデー
- 2日(日) 八十八夜
- 3日(月) 憲法記念日
- 5日(水) こどもの日
春の全国交運安全運動最
終日
全国児童週間(～11日)
- 6日(木) 立夏
- 7日(金) 乳幼児検診
母子健康センター
- 10日(月) 愛鳥週間(～16日)
- 12日(水) 妊産婦検診
(母子健康センター)



明るく元気いっぱい＝新入生

山野が花で飾られ、春の日ざしが快いこのごろ、とくに新入生にとっては楽しい季節です。

4月5日、町内小中学校で入学式が行なわれましたが、今年は、小学校へ124人、中学校へ157人が入学、保育所へは219人が入園し、元気に通学通園しています。

希望に胸ふくらませて、元気に通学するこの子たちにとって、恐しいのは交通事故です。

現在、全国一斉に展開中の春の交通安全運動では、新入学児童園児の保護が重点目標の一つになっています。

明るい未来に向かって進む新入学児童・園児を交通事故から守りましょう。

(小学校新入生の氏名を、3面に掲載しました)

咲き誇る桜の下で元気にはしゃぐ新入生(内城田小で)

自衛官募集

陸・海・空自衛官を募集しています。

◇身分 国家公務員特別職
 ◇給与 初任給二五、一〇〇円
 (約十ヵ月後に二八、二〇〇円)
 ボーナス年三回四、五ヵ月分
 衣食住すべて無料給付

◇資格 十八歳～二十歳未満
 の男女、ただし十七歳から受
 験できます。

◇受付 毎日

詳しくは自衛隊三重連絡部
 明野分駐所(電話 伊勢〇
 一一一)か町総務課へお問い
 合せください。

三重県交通災害共済

年360円の掛金で
 最高50万円を保障!!

掛金を添えて、区長さんか、
 町総務課へお申し込みください。

4月の納税
 固定資産税
 (第一期分)

4月30日までに必ず納め
 ます。

第一期分以後の税金もあ
 わせて納められると「前
 納報奨金」が交付されます。

工事のあらまし

- ◇建築面積 736.40㎡
- 1階 703㎡……競技場、ステージ
控室2、用具置場、更衣室2
便所
- 中2階 33.4㎡……ギャラリー、物置
- ◇工費 26,400,000円
- ◇施工者 株式会社 堀崎組
- ◇設計者 株式会社 藤川建築事務所
- ◇着工 昭和45年 10月 10日
- ◇完成 昭和46年 3月 20日



待望の体育館が完成

ステージ、放送施設も完備＝ 県立明野高校度会分校

工費二千六百万円余を投じて建設中の県立明野高校度会分校体育館が完成、四日、同体育館で浜岡町長、北村議長ら町関係者と志田県教育委員長をはじめ近隣町村長、同議会議長、分学生徒代表ら九十人を招き竣工式が行なわれた。

完成した体育館は、大野木地内の同校北側に鉄筋コンクリート一部二階建て、延七百三十六平方メートルで、ナラフローリング張りの競技場をはじめ、ステージ、控室二、用具室、それに二階はギャラリーになっており、このほか放送施設や自動火災報知器、給排水衛生施設なども完備しています。

競技場は、バスケットまたはバレーコート一面がらくらくととれる広いもので、創立以来、二十五年間、体育館のないまま自由を忍んできた同分校にとって、体育館が完成した喜びはひとしおのようです。

昭和二十三年七月、定時制として発足した同分校は、三十四年三月に全額町費で大野木地内に新校舎を建設、三十九年には全日制に昇格し現在に至っています。

体育館の建設は、この全日制代替の際、不足していた施設（校地の拡張、排水施設の完備、体育館の建設など）を町が整備して県へ移管するという町と県との覚書に基づく条件の一つです。



県立明野高校度会分校体育館竣工式

写真上は完成した体育館
下は同体育館の竣工式

新入生です よろしく

今年の新入学児童は、昭和三十九年四月二日から昭和四十年四月一日までに生まれたお子さんで、男七十三人、女五十一人、計百二十四人です。

敬称略
井宏明 桜田てるみ

〔内城田小学校〕 48名

〔小川郷小学校〕 18名

- 葛原 中井均 大野木 西 駒ヶ野 岩井和久 亀田庄村直也 中世古信之 福井正 司 鈴木文香 米田美鈴 火好 坂口佳世子 福井寛子 打石 山本豊 中井順子 小西村早由里 福井公代 棚橋 川 中谷竜也 泰道博之 日岡村円 岡村幸重 久保幸 向 橋本真弓 中之郷 伊藤久 山本己貴男 中村良成 ゆかり 栗原 西田和人 小浜口司 大北陽基 中西 功 林宣和 小林浩 小林由美子 村端建児 荻田智明 鳥羽昌 荻田たまき 川口 久保田洋志 舟瀬千春 中村貴美 岡一 溝口宗一 大久保千鶴 村香 山本文香 杉山一女

〔一之瀬小学校〕 31名

- 新見衣子 才迫順子 牧戸 坂谷善男 井戸本幸子 井戸 本益美 平生 山北喜代子 東谷さゆみ 山北貴美子 大久保 森本孝 立岡 早川和行 山本楨 鮎川 森茂久 松井美幸 茶屋広 藤原隆 河村和仁 田間 玉村肇久 山本公和 上久具 中村政人 西川和巳 尾崎巧 石井孝人 中西豊 下久具 中西孝晴 青木健

〔中川小学校〕 27名

- 注連指 中山利也 前田正 樹 前田茂樹 松原薫 東谷 小萩 前田直人 前田くす代 幸子 林美咲 上村ひろみ 田口 野田喜弘 上村正昭 大喜多直美 北川登志 麻加江 山本悟 世古幸弘 細谷元紀 世古幸彦 中嶋令夫 坂井 奥野等 南出香 長原 大西一幸 大西隆 岡野由佳 大西一幸 大西隆 岡野由佳 立花 中井清文 桜田徹 中

春の全国交通安全運動

飲酒運転と追放しよう

春の全国交通安全運動は、四月五日から五月五日までの一カ月間、全国一斉に展開されています。今回は前期と後期に分けて四月五日から四月十一日までを前期とし、歩行者事故とくに子どもと老人の事故防止を目標に、新入学児童、園児の保護を重点に実施されました。後期は、四月二十六日から五月五日までの十日間で、行楽期における事故防止を主眼とし、飲酒運転、速度違反、無謀運転の追放などを重点的に実施されます。

4月5日～5月5日

ドライブは安全運転で

これからの行楽期は、マイカーによる事故が心配されます。行楽地へドライブするようなときは、ふだんは慎重な運転をする人でも、とかく無理をしがちで、スピード違反、追越違反、わき見運転、酒酔い運転など無謀な運転が目立ちます。

これは、(1)発車前にエンジンやブレーキ、ハンドルの調子など車の点検をする。(2)ドライブの計画に無理がないようにする。(3)前日の疲れや寝不足で運転しないよう、心身を最高の状態に保っておく。(4)無理な運転はしないよう、とく



に酒を飲んで運転しないことなど安全運転に心がけてください。

町内一円を交通安全パレード

本町でも、この運動の一つとして、去る十二日、町と伊勢交通安全協会支部(西村己吉支部長)が、広報車十台で町内一円をパレードし、通行車両や歩行者に標語入り風船を渡して交通安全を呼びかけました。

- 〔後期の重点目標〕
- (1) 飲酒運転追放運動の促進
 - (2) 無謀運転の追放
 - (3) 適正な運行管理
 - (4) 車両の点検整備と安全運転知識の普及
 - (5) 踏切における安全確保
 - (6) ヘルメットの着用運動
- なお、四月は学校の新学期で、とくに新入学児童は、はじめて親の保護をはなれ、一人で車のいきかう危険な道路を通学することになります。運転者の方も、十分心得て運転していただきたいものです。

土地改良区 新規事業など決まる

町土地改良区 (理事長浜岡和一町長、組合員千四百九十五人) では、去る七日通常総代会を開き、昭和四十四年度収入支出決算の承認と昭和四十六年度収入支出予算および新規事業計画などを議決しました。

◇ 昭和44年度収入支出決算

収入	9,364,262円
支出	9,183,011円
差引	181,251円

(翌年度へ繰越)

◇ 昭和46年度収入支出予算

7,598,000円

(前年度比5%増)

46年度新規事業

事業名	事業量	事業費 千円
和井野揚水施設工事	2カ所	1,000
田間用水路工事	延長 890m	1,600
麻加江用水路工事	" 840m	1,700
柳用水路工事	" 220m	510

いずれも利子軽減対象事業

国民年金教室

私たちにとって、最も不安なものといえば物価高、公害、老後といわれる昨今ですが、その中の一つ「老後」については、国民年金の開始によりすべての人々の老後が保障されることになりました。

その国民年金も、四月一日から支給が開始されましたので、今回は、婦人会組織を通じて納められる保険料について述べましょう。

保険料前納割引額の一覧 (一年単位)

種別	年額	割引額
定額保険料 (4月～7月)	5,400円	130円
所得比例保険料	4,200円	100円
5年年金保険料	9,000円	220円

定額保険料については、47年7月から月550円に引上げられるため本年8月分以降前納する場合の年額は、その分だけ高くなります。

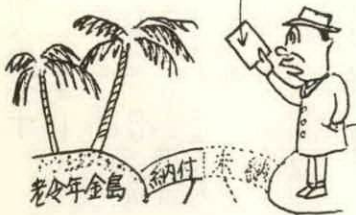
保険料は

お得な前納制度で

保険料は、毎月納めていたのがたてまえですが、毎月では面倒だといわれる人や一年のうち、まとまった収入を得る月のある人などのために前納制度があります。

前納は、年度初めの四月から年度の途中からでもかまいません。その月から向う一年分の保険料を単位とします。前納していただくと、別表のような割引きもあります。

掛金



保険料の免除制度もあります

国民年金に加入している人のなかには、保険料を納めたくとも納めることが困難な人があります。

そこで、このような人たちのために保険料の免除制度があります。

保険料の免除を受けること

図書百冊余を備える

将来は図書館を

町公民館(館長・繩手利一 教育長兼務)では、図書や記録、資料などを備えつけ、広くみなさんに利用していただくことにはしていますが、その一つとして、このほど図書百一冊を購入しました。

毎年、百冊程度を購入し、将来は図書館とする計画です。貸出しもいたしますから、ぜひぜひご利用ください。

(図書名)
◇現代文学大系一巻七十巻

(二葉亭四迷、坪内逍遙、北村透谷集ほか六十九集)
◇世界大百科事典—平凡社
◇冠婚葬祭入門—塩月弥栄子
◇心—高田好胤著
◇道—同著
◇家庭の医学—柳下徳雄ほか著
◇ガン病棟—一部
◇二部—ソルジェニツイン著
◇小笠原豊樹訳
◇参宮街道—中沢正著
◇大淀郷土史—中野イツ著
◇龜山地方郷土史
第一巻—山田木水
◇布留屋草紙—古屋久語著
◇志摩の

なお、県立図書館の自動車文庫の
三カ所の配本所(役場、小川郷

民俗上・下巻—鈴木敏雄著
◇勢陽雜記—山中為綱著
◇伊勢志摩の民話—倉田正邦著
寛政期の藤堂藩—深谷克己著



備えつけられた図書

小学校、一之瀬農協)にそれぞれ約五十冊の図書が配本かれていますから、ぜひぜひご利用ください。

- (1) 所得がないとき
- (2) 本人か世帯員が生活保護法による生活扶助以外の扶助を受けている人など
- (3) 地方税法に定める障害者またはか婦であつて、年間所得が一定額以下のとき
- (4) その他保険料を納めることが著しく困難であると認められるとき

免除を受けていた人
追加納付ができます

保険料の免除を受けていた期間について、その後において保険料を納める能力ができた人について、過去十年以内の期間についての保険料を追加納付することができます。

未納の特別措置

国民年金制度が発足した当時、保険料を納めなかった人に対して、特別措置として昭和四十七年六月三十日までに限り保険料を、さかのぼって納付することができます。

詳しいことは町住民課国民年金係へお問合せください。



中南勢とわたらい茶

小川 奥野可頌

最近、私たちの身近に「中南勢開発」と言った大きな話題が連日のように語られています。

さて、この中南勢開発が私たちにどんな関係があるか、私の夢をご紹介しましょう。

さて、本町の「わたらい茶」が、数年前の全国茶の品評会において、日本一の味と香り

たらい茶」も、静岡茶や宇治茶に比べ、まだまだ一般に知られていないことは、

また、大きな港が開けているといった地理的にも有利な条件がそろっていることは見のがすことができないでしょう。

また、その地域には大きな港が開かれ、外国の巨船が入り出すことであります。

私は、太平洋を航海するわたらい茶が、かもめと一緒に歌うであろう。次の詩を信じて私の夢を終わります。

三、故郷の想い流るる宮川に
虹の大橋揺れている 不屈の精心の若人が 製茶で築く明日がある お茶は日本のわたらい茶



また、その意味において、中南勢開発は、わたらい茶にとつて絶好のチャンスだと思われる。

また、その意味において、中南勢開発は、わたらい茶にとつて絶好のチャンスだと思われる。

わたらい茶
一、清き流れの宮川に 四方の緑が揺れている 自然に
培う若人が 腕に汗して摘

次回、奥野さんのご指名により前田任美さん(注連指)にお願いする予定です。

なせなれば、大企業の進出

わたらい茶の香りを漂わす日も

遠くはないでしょう。

みとるは お茶は日本のわたらい茶

広報板

国民年金〈福祉年金〉

所得状況届は5月6日～6月15日

70歳以上のおとしよりや身体が不自由な人、母子家庭の人など国民年金の福祉年金を受けている人は、本人や配偶者または扶養義務者の前年中の所得状況いわゆる「所得状況届」をしていただく必要があります。

◇手続き 5月6日～6月15日までに国民年金証書をお忘れなく。(この場合、5月期の年金を受けられたその分で町住民課国民年金係へおこしください。)

日赤社員増強運動 みなさんのご協力を

赤十字社員増強運動が、5月1日から末日まで全国一斉に行なわれます。

日本赤十字社は、災害のときの救助活動をはじめ、血液センターの運営などいろいろの奉仕活動をしています。

これらのすべての事業は、みなさんの尊いきよ金で運営されています。

こうした活動をみなさんにご理解いただき、その運営資金をお願いするために毎年この増強運動が行なわれています。

あなたもぜひ日赤社員にご加入ください。

本町ではこの期間中、婦人会の方が加入されている人の社費の納付や新社員の募集、また、社員に加入しないが社旨に賛同される方の賛助費についてみなさんのご家庭にお願いにあがりますので、その節はよろしく願います。

歌会始のお題 山と決まる

昭和47年歌会始のお題と詠進歌の詠進要領が決まりました。

◆お題 山

歌の中に「山」の文字がなくても、例えば富士、アルプス、ヒマラヤなど山の名があればよく、また山の情景が歌によみ込まれていれば「山」の文字がなくてもよろしい。

◆詠進歌の詠進要領

1. 詠進歌は、1人1首限りとし、未発表の歌であること。
2. 用紙は半紙とし、毛筆で自書のこと。(病気または身体障害のため毛筆で自書することができない場合は、他人が代筆してさしつかえありませんが、代筆の場合は、その理由を書いた別紙を添えること。盲人は点字で詠進してさしつかえありません。)
3. 書式は、半紙を横に二つ折りにして、右半面にお題と歌、左半面に住所・氏名(本名・ふりがなつき)、生年月日・職業(具体的に詳しく)を書くこと。
4. 詠進の期間

本年9月1日～10月11日(11日消印有効)

5. あて先

100 東京都千代田区千代田1番1号 宮内庁とし、封筒に「詠進歌」と書き添えること。

なお、詳しいことは町総務課へお問い合わせください。

新しい区長さん決まる

敬称略

注連指	田口	前山	田根	忠	志
麻加江	井原	山世	根古	武	治
坂井	原北	世北	村北	兵	衛
長立	花中	北中	村井	清	五
鏗立	川世	早世	古川	敬	二
大久保	岡早	浦早	田川	宏	美
平生	植浦	植浦	村田	徳	郎
牧戸	西田	田山	山下	正	雄
棚橋	北山	山下	内井	辻	松
大野	内山	石中	倉田	健	二
葛原	石中	倉田	藤田	才	一
下久具	中倉	藤森	本出	松	平
上田	藤森	東出	田本	金	助
当津	森東	本出	本谷	政	生
茶屋	東出	本谷	野田	徳	次
川口	本谷	野田	田武	房	彦
原郷	本谷	野田	田武	兼	吉
向日	本谷	野田	田武	正	宮
五ヶ町	本谷	野田	田武	宮	保
小川	本谷	野田	田武	保	増
火打	本谷	野田	田武	昌	行
駒ヶ野	本谷	野田	田武	丈	夫
小萩	本谷	野田	田武	武	男
柳場	本谷	野田	田武	保	治
市協	本谷	野田	田武	楠	幸
和井	本谷	野田	田武	哲	清
南中	本谷	野田	田武	正	男
川上	本谷	野田	田武	昭	行

(留任)

青年団

新役員と事業

町青年団の新役員と新年度事業計画、予算が決まりました。

【新役員】

敬称略

- 団長 山本勝行(平生)
- 副団長 西組二郎(田口)
- 書記 西岡栄子(和井野)
- 書記 山下博三(大野木)
- 井戸本春美(牧戸)
- 西田 孝(栗原)

- 会計監査 小林政代(川口)
- 体育部長 中森(定)大久保
- 文化部長 福井金市(大野木)
- 編集部長 辻井清子(牧戸)
- 編集部長 前田保夫(注連指)

【事業計画】

- 四月～五月 ハイキング
- 六月～七月 キャンプ大会
- 八月～九月 青年研修
- 十月～十一月 体育大会
- 十二月 クリスマス会
- 二月～三月 ウィンタースポーツ、総会。

婦人会新役員

(町婦人会連絡協議会)

- ◆会長 北村承子(内城田)
- ◆副会長 ◆副会長 亀田 喜代子(中川同) ◆書記 長谷川育子(一之瀬同) ◆計 亀田茂子(小川郷同)

(中川婦人会)

- ◆会長 亀田喜代子(麻加江)
- ◆副会長 中西美佐代(立花)
- ◆書記 北村絹代(長原)
- ◆会計 北村迪子(注連指)
- ◆支部長 注連指 上村迪子、田口山下、房子、麻加江、亀田ひで、坂井、山本由子、長原、北村絹代、立花、中西美佐代

(内城田婦人会)

- ◆会長 北村承子(上久具)
- ◆副会長 河村たづ(茶屋)
- ◆会計 木村道子(平生)
- ◆支部長 葛原一杉井喜代、大野木、福井次子、棚橋、山本八重、牧戸、坂谷キヌ子、平生、山北貴巳

(一之瀬婦人会)

- ◆会長 長谷川育子(南中)
- ◆副会長 太田あき子(同)
- ◆支部長 川上小牧和子、南中村、長谷川米子、和井野、西岡郁子、脇出、山本美代子、市場、高橋くに子、柳一杉本ユキ、小萩一岡野くす(敬称略)

大久保一浦田光子、立岡一山西よね、鮎川一松井貞子、茶屋広一藤原貞子、当津一尾崎美和、田間一玉村美智上久具一柳谷ひさ枝、下久具一山形あや子

- ◆会長 亀田茂子(駒ヶ野)
- ◆副会長 伊藤満子(日向)
- ◆会計 小林淑子(栗原)
- ◆支部長 駒ヶ野一西野とし、火打石一山本ゆり、小川一浜岡喜美子、五ヶ町一浦井郁枝、日向一伊藤くに中一郷一中野みつ子、栗原一伊藤なつゑ、川口一稲向敦子